

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 中間評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	神崎市立千代田東部小学校
-----	--------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・「夢に向かって、気づき・考え・行動する」児童の育成」を重点に置き、マナー教室等を実施することができた。その結果「自らの夢や目標を実現に向けて努力する」と回答する児童の割合99%、「自分にはよいところがある」というアンケートで、1学期88%、2学期は96%であった。向上心や自己肯定感の伸びがみられた。</p> <p>・コロナ禍という状況ではあったが、オンライン、規模縮小、内容変更等の工夫を試みながら、学校行事を実施することができた。これらの経験が、教科学習の授業だけでは得ることのできない達成感や協働性、責任感等を向上させることができた。</p> <p>・家庭学習の習慣化については、「家で勉強ができています」児童は88%であった。保護者も80.4%が「できている」と答え、一定の成果が見られた。次年度も家庭での生活習慣と併せ、継続して保護者や児童に働きかけていく。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	<p>「渾身勉学」「白鳥蓮花に入る」 ～ 「夢に向かって、気づき・考え・行動する」児童の育成 ～</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>①自分づくり（得意分野をもち、仲間と未来を語る心優しい子の育成） ②仲間づくり（意欲的で、自信をもって自己表現できる子の育成） ③学びづくり（試行錯誤し、根気強く挑戦できる子の育成）</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標 中間評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	実施結果	評価	学校関係者評価		
	取組内容	成果指標 (数値目標)						意見や提言		
●学力の向上 (学びづくり)	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師90%以上	・学期末にマイプランを見直し、共通する課題等を研修会等で共有する。「授業づくりのステップ1・2・3」の振り返りを毎週行い、指導の手立ての確立の促進を図る。	B	・マイプランの達成は、60%であった。まずは、児童の実態に応じたマイプランの見直しを行う。また、「授業づくりのステップ1・2・3」のチェックシートの活用及び相互授業参観・フリートークをより推進させる。					学力向上Co
	○家庭学習の習慣化	○「学年にあった時間、家での勉強ができています」と回答する児童75%以上	・毎学期「学習がんばろう週間」を行い、家庭での学習時間と内容の確認を保護者を行う。「小学生新聞」の活用を、上学年において自読タイム等で行う。	A	・「学習がんばろう週間」「小学生新聞」の実施をすることができた。家庭学習時間を達成した児童が91%だったので、2学期以降も達成できるよう、保護者や児童へ働きかける。					学力向上Co
●心の教育 (自分づくり)	●児童の「よさを見抜き、認め、伸ばす」支持的風土のある学級・学校づくりの取組	○カード1年間に25枚以上 ○「心タイムアンケート」各項目90%以上	・「心タイム」等で、「ほかほかカード」「心の木カード」を書かせたり、スターシールを活用したり、エンカウンターや「自慢大会」などをしたりすることで、自己肯定感の向上を図る。	A	・「心タイム」でカードを書く時間を設定したことで意欲的にカードを書く児童が増えてきた。自発的によいことをする児童が増え、スターシールの効果が表れている。2学期は新しい内容のエンカウンターに取り組みんだり、自慢大会を開催したりする。					自分づくり部
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等についての組織的対応ができていますと回答した教員95%以上	・毎月1回行う「心アンケート」の結果や気になる子の情報を生徒指導連絡会で全職員と共有する。 ・SCや地域の方を含めた、年2回のいじめ防止対策委員会を行う。	A	・毎月1回「心アンケート」を行い全職員で共有することで、早期に対応することができている。今年度より気になる子の情報交換を行い、共有ができています。 ・いじめ防止対策委員会を実施し、SCや地域の方とも共有することができている。					生徒指導 教育相談
	◎児童が夢や目標をもち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「自らの夢や目標を実現に向けて努力する」と回答する児童の割合95%以上	・年2回「マナー教室」を実施し、学年や個人に応じた夢や目標を立て、実現に向けて何をどう行うか、考え努力を継続する。	A	・児童アンケート「頑張ることを決め、粘り強く取り組む」(99%)、「自分にはよいところがある」(90%)となり、目標をもって学校生活を送ることができている。また、マナー教室を行い、自分の考えや思いをはっきり表現することが低学年から意識できている。					
●健康・体づくり (仲間づくり)	●仲間のよさが実感できる体験活動の充実	◎「友達と力を合わせて、生活や勉強ができています」と回答する児童の割合95%以上 ○「昼休み外で元気に遊んでいる」と回答する児童の割合90%以上	・縦割り活動を充実させるため、毎学期縦割り班対抗の種目を児童が主体的に計画し、実行する。 ・縦割り班を有効に活用し、体育的行事やスポーツチャレンジによる体力づくりへの取組を行う。	B	・アンケート結果は99%だった。保健運動委員会が「縦割り班対抗しっぽり大会」を企画・実施したが、熱中症対策のため、後半は2学期に延期した。 ・熱中症指数が高い日が続き、外で遊べない日が多く、アンケート結果は85%となった。2学期は、体育大会での練習やスポーツチャレンジの奨励を積極的に行い、90%を超えることを目指す。					仲間づくり部 体育主任
	●「白鳥蓮花に入る」の精神が生きるボランティア活動の充実	○ボランティアパスポート1冊以上100% ◎進んで元気なあいさつをする児童、あいさつ運動に取り組む児童90%以上	・ボランティア集会や放送で、ボランティアについて伝え、全児童が自主的にボランティア活動に取り組むようにする。 ・あいさつやあいさつ運動など、よい行いをしている児童を各学級や全校朝会などで紹介する。	B	・ボランティア活動に関して、保護者、職員の意識は高い。児童も、自主的にボランティア活動に取り組んでいるが、ボランティアパスポートに3枚以上シールを貼っている児童が81%である。全児童が、ボランティアパスポート1冊以上取り組むように放送、朝会等で呼びかける。ボランティア活動に積極的に取り組んでいる児童を紹介し、活動への意欲を高める。					仲間づくり部 ボランティア美化委員会
	●「望ましい生活習慣の形成」	○学年に応じた就寝時刻を守る児童の割合85%以上	・月1回の保健だよりや長期休業前の生活の話などを通して、基本的な生活習慣の大切さ(家庭での過ごし方)を啓発していく。	A	保健便りや長期休業前の話、学級指導で啓発し、望ましい生活習慣が向上している。学校生活アンケートの「早く寝ることができている」と答えた児童は90%だった。					生徒指導 養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校時間等の上限の遵守	・18:15の全職員退勤時刻と毎週金曜日の定時退勤日を周知徹底し、必ず18:00に声掛けを行う。(退勤予定時刻の記載)	B	・毎週金曜日の定時退勤日は、概ね守ることができた。しかし、平日の退勤時刻は、退勤予定時刻の記入での意識付けがもう少しの状況だった。更に退勤時刻(18:00)の声掛けを強く行っていく。					教頭
	○働きやすく、疲労蓄積の低減を目指した働き方改革の推進	○「疲労蓄積度自己診断チェックリスト」での「負担度 やや高い」職員の割合15%未満	・朝の体温と健康状態に加え、退勤予定時刻を出勤時に記入し、仕事の効率化を図る。	A	・7月上旬に「疲労蓄積度チェック」を実施し、「やや高い」以上の職員が7名(46%)という結果だった。本校職員の高齢化を踏まえ、2学期以降も積極的に声をかけていくようにしたい。					教頭 養護教諭

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	実施結果	評価	学校関係者評価		
	取組内容	成果指標 (数値目標)						意見や提言		
○地域の特色を生かした教育 (仲間づくり)	○地域教材の活用 (「次郎の里」教育の実践)	○「千代田の町や人が好きです」と回答する児童95%以上	・下村湖人家体験学習を、各学年1回実施する。 ・「次郎週間」「次郎とのふれあい遠足」「次郎集会」を設定し、郷土を愛する心を育む。	A	・「次郎集会」では、地域の方からの話を聞き、さらに学習を深めることができた。「千代田の町や人が好きです」と回答した児童は97%だった。総合や生活科で千代田町に触れる実践を行っていく。					特別活動主任 教務主任

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育	
5 総合評価・ 次年度への展望	